

あな

市議会だより

平成31年（2019年）2月

第149号

市議会12月定例会から

議長に 橋本 幸子 議員
副議長に 飯田 忠志 議員を選出

もくじ

CONTENTS

12月定例会の概要	2
決算の審査概要	3
一般質問	4～9
委員会の審査状況	10
議決結果一覧	11
議会組織一覧表	12

第9回羽ノ浦新春凧揚げ大会（1月3日撮影）
那賀川河川敷第3緑地公園

12月定例会の概要

12月定例会は12月4日から21日までの18日間の会期で開きました。

今議会では、専決処分承認議案2件、条例の一部改正議案8件、補正予算議案6件、その他の議案3件、人事議案2件の計21件の市長提出議案と請願1件を審議しました。その結果、市長提出議案及び9月定例会で継続審査としていた平成29年度各会計歳入歳出決算認定議案17件をいずれも原案のとおり承認、可決、認定、同意とし、請願については、不採択と決定しました。
(議決した議案の一覧については11頁をご覧ください。)

12月定例会日程(会期18日間)

4日(火) 開会

(会議録署名議員の指名、会期の決定、議席の変更、特別委員長報告、質疑、討論、採決、議案の上程、正副議長選挙、各常任委員・議会運営委員の選任)

11日(火)

追加議案の提案理由説明

一般質問

12日(水)

一般質問

13日(木)

一般質問

議案質疑、委員会付託

14日(金)

建設委員会

17日(月)

産業経済委員会

18日(火)

文教厚生委員会

19日(水)

総務委員会

21日(金)

閉会

(各常任委員長報告、質疑、討論、採決、人事議案提案理由説明、採決、閉会中の継続調査)

正副議長の選挙

○議長(第55代)

橋本 幸子 議員



○副議長(第59代)

飯田 忠志 議員



一般質問を行った議員

○代表質問(90分) 4人

野村 栄

(新生阿南)

住友 利広

(自民創生会)

福谷 美樹夫

(市民クラブ)

住友 進一

(経政会)

○個人質問(60分) 9人

表原 立磨

林 孝一

湯浅 隆浩

佐々木 志満子

喜多 啓吉

武田 光普

小野 毅

保岡 好江

奥田 勇

本会議における質問の順序は、代表質問は輪番制で、個人質問は抽選により決定しています。

同意した人事議案

○監査委員

古山 茂(上中町)

星加 美保(羽ノ浦町)

9月定例会において継続審査としていた、平成29年度一般会計及び16事業の特別会計を合わせた計17件の決算認定議案について、10月11日、12日の日程で決算審査特別委員会を開催し、議案の審査を行いました。

以下、審査の過程で出された主な質疑等の内容を報告します。

◇収入未済額と不納欠損額について

収入未済額と不納欠損額が減らない厳しい状況である。徴収率向上に向けて、これまでと違った取組をしているのかとの質疑があり、平成29年度の徴収率は、過去最高であり、これまでのやり方を踏襲し、粘り強く納付を催告する手順で取り組むとともに、徴収強化月間を設けて、関係各課と滞納者宅を訪問し、納付を催告している。また、どうしても完納に至らない場合は滞納整理機構に移管するほか、生活状況、財産調査により、納付困難との判断となれば、滞納処分執行停止をすることもある。今後

も、公平で公正な課税と徴収の確保に向けて積極的に取り組みたいとの説明があった。

17億円減となっている、財政調整基金の今後の見通しについて質疑があり、平成29年度は17億円を取り崩し、主に阿南医療センターの建設にかかる補助金として16億円を支出している。平成30年度も15億円の補助金支出が残っている状態であるとの説明があった。

南阿波定住自立圏共生ビジョン医療事業として医師確保対策事業補助金をJA徳島厚生連に交付しているが、単年度支出となるのか、

あるいは数年度継続するの
かとの質疑があり、新たに
牟岐町、海陽町を含めた1
市4町の新定住自立圏構想
の中で行っている事業で、
計画期間は平成29年度から
5年間であるが、来春の阿
南医療センター開院に伴い
医療事業の補助金について
は見直しの検討を行う予定
であるとの説明があった。

の意見があつた。

償還金の免除は、本市に住
所を有する場合は、就労の有
無にかかわらず免除になるの
かとの質疑があり、就職先と
は関係なく、本市に住所を有
していることで償還金免除の
対象となる。毎年4月1日現
在の住民基本台帳で確認して
おり、市外へ転出した時点で
免除ができなくなるとの説明
があった。

平成29年度中の春日野地域
下水道基金の増減高386万
7863円の算定根拠につい
て質疑があり、春日野地域下
水道処理施設の建替え計画案
の策定費用として、春日野地
域下水道基金から894万円
を取り崩したが、平成29年度
の余剰金1280万7863
円を春日野地域下水道基金へ
積立てたため、894万円と
の差し引き分が386万78
63円の増額となったとの説
明があった。

新生阿南（9人）

副幹事長	幹事長	会長
幸坂	林	野村
孝則	孝一	栄

自民創生会
(6人)

会長 山崎 雅史
副会長 荒谷 みどり
幹事長 表原 立磨

経政会
(5人)

幹事 会長
長 久
沢 久
本 米
勝 良
彦 久

市民クラブ
(3人)

会長 仁木 啓人
幹事長 福谷 美樹夫

公明党
(2人)

會長 奥田 久晃 勇

子どもと未来の会

會長 佐々木志滿子

一般質問ダイジェスト

野球のまち阿南

◇甲子園出場記念プレート

Q 選抜高校野球大会への出場を果たした高校へ、記念プレートを贈呈しては。

A 去る11月5日、来春行われる第91回選抜高等学校野球大会の21世紀枠に、富岡西高校が徳島県高等学校野球連盟から推薦された。12月14日に、四国4県の推薦校の中から1校が選ばれ、来年1月25日の選考委員会で全国9地区の候補から3校が選ばれると伺っている。野球のまちを掲げる本市の高校が、甲子園出場を果たすことは、在校生や卒業生にとどまらず、多くの市民にとってこの上ない喜びである。甲子園出場が決定した際には、甲子園出場を祝福し、できる限り富岡西高校の希望に沿ったプレートを作成し、贈呈時期等を調整した



あななんアリーナ前に設置されている甲子園出場記念プレート

上で、記念プレートを贈りたい。

また、県南部健康運動公園の屋内多目的施設「あななんアリーナ」前に、新野高校が過去2度、甲子園に出場したことを記念して、縦40センチ、横58センチのステンレス製の記念プレートを設置している。3枚目の甲子園出場記念プレートを「あななんアリーナ」前に飾れることを心から願っている。

障がい者の雇用

◇市職員の障がい者雇用

Q 障がい者雇用に対する今後の方針は。

A 障がい者が働きやすい環境を整備し、広く就労の場を提供することは本市の責務である。今後は、平成32年度からの会計年度任用職員制度の開始を視野に、雇用全体の枠組みの中で法定雇用率の確保はもとより、労働環境や勤務条件、サポート体制等に留意しながら、何よりも雇用された職員自身が必要とされる、働きがいのある職場づくりとあわせ、早急に所要の措置を講じたい。

地域医療

◇阿南医療センター新築工事

Q 現在の工事の進捗状況と具体的な開院時期は。

A 新病棟の建築工事は、昨年4月、工事に着手して



阿南医療センター新築工事のようす
(平成30年12月25日撮影)

以来、順調に進んでいると伺っており、本年10月には、最上階の6階部分まで立ち上がり、ヘリポートも確認できるようになった。現在は、鉄骨工事が完了した部分から各階のスラブコンクリートを打設しているとのことである。

具体的な開院時期は、JA徳島厚生連から、両病院の業務にできるだけ支障が出ないようにするため、来年のゴールデンウィークの間に患者の移動や、医療機器の移動・設置、引越し作業などを経て、ゴールデンウィーク明けに新病院で診療を始める予定で進めていると伺っている。

防災行政

◇防災公園の津波想定高

Q 平成30年12月3日付の新聞報道では「ゆたか野地区防災公園」が高さ不足により、避難場所に適していないとの掲載があったが。

A ゆたか野地区防災公園は平成22年度に着工したもので、当初の高さは当時の基準となる「徳島県津波浸水予測」を上回る3・85メートルで整備され、平成24年6月に竣工した。しかし、東日本大震災の発生や徳島県の津波浸水想定などの見直しに伴い、ゆたか野地区防災公園付近の津波想定高は、最大で4・5メートルと予測されたことから、平成27年9月に、余裕高1メートルを加えた5・5メートルの高さに再整備した。本市の防災公園の避難場所の高さなどは、「発生頻度は極めて低いものの、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの津波が、悪条件下において起こった場合」も想定し、整

Q 避難行動要支援者名簿は市内の機関と共有し

◇自力避難困難者への支援



平成27年9月に再整備したゆたか野地区防災公園

備していることから、高さ不足はないと考えている。

既に、ゆたか野地区防災公園が避難先となる自主防災会には、有効性等について説明しているが、今後においても、より一層、広報あなんや市のホームページなどを通して周知するとともに、平時には散策や憩いの場として、また、防災訓練の場として活用し、防災公園をより身近に感じていただきたい。

ているのか。

A 避難行動要支援者名簿は、平成26年9月に作成しているが、個人情報等が含まれることから、「阿南市避難行動要支援者名簿の個人情報取扱いに関する協定書」の締結後、名簿の提供を行っている。現在、提供している機関は、阿南市社会福祉協議会、阿南警察署、阿南市消防団、阿南市民生委員・児童委員協議会、今後、自主防災組織等とも協定を締結し、提供を行っていききたい。

◇避難訓練の実施

Q 庁舎を利用した避難訓練の具体的な計画は。

A 現在、作成している「富岡地区の津波避難計画」に基づき、避難場所が庁舎となる市役所付近の住民を対象に津波避難訓練を実施したい。また、地震・津波発生の時間帯によつては、市職員の対応が異なることから、現在、「阿南市役所庁舎避難誘導マニュアル」を作成している。庁舎を利用した避難訓練は、

「富岡地区の津波避難計画」や「阿南市役所庁舎避難誘導マニュアル」完成後、自主防災組織等の協力をいただきながら実施していききたい。



避難場所として利用するあなんフォーラム

空き家対策

◇空き家の撤去促進

Q 空き家の撤去により、固定資産税が急激に上がることを防ぐ制度を導入しては。

A 住宅用地は、面積に応じ、小規模住宅用地及び一般住宅用地に区分してそれぞれ

課税標準額を価格の6分の1または、3分の1に減ずる住宅用地特例が適用されている。しかし、住宅の撤去が行われた場合や「空家等対策の推進に関する特別措置法」の規定により、「特定空家等」に認定され、必要な措置をとるよう勧告が行われた場合は、特例措置の適用が除外され、税負担が急増することから、独自に減免制度を設けるなどの対策を講じている自治体もあるが、減免制度に対する地方財政措置は講じられていない。空き家の処分は全国的な問題となっており、国でもその発生の抑制を含めた議論がされていることから、引き続き、国及び周辺自治体の動向を注視したい。

選挙

◇期日前投票所の増設

Q 市民サービスや投票率の向上のため、期日前投票所の増設をしては。

A 有権者の利便性や市民サービスの観点から関係課

との協議を行ってきたが、増設場所の選定、人員体制、経費、システムトラブルの対応策など、問題解決までには至っていない。

選挙管理委員会として、昨年の市議会議員選挙から選挙公報の発行、来年度から施行される市議会議員選挙におけるビラの公営の検討、また、高校での模擬投票の実施など、投票率向上に向けた取組を行っている。このような取組を含め、期日前投票所の増設は、今後においても検討を重ねていきたい。

道の駅の整備

◇新たな「道の駅」の整備

Q 「道の駅」整備基本計画策定委員会での意見を受けて、基本計画素案や今後の事業にどう反映させていくのか。

A 基本計画素案は、策定委員会において原案どおりに承認され、その後、修正を求める意見がなかったことから、ほぼ原案のまま市長へ提



阿南中央病院に乗り入れを行っている循環バス

地域公共交通

言されることになる。最終的な候補地などの決定は阿南市が行うことになるが、本提言を尊重し事業を進めていきたい。また、「道の駅」整備に関する財政面では、有利な補助金や交付金を活用し、適切な整備手法や管理運営手法を検討していきたい。

◇阿南医療センターへのバスの乗り入れ

Q 来年春に開院する阿南医療センターへのバスの乗り入れは。

子育て支援

A 現在、阿南中央病院への乗り入れを行っている路線は、循環バス路線のみとなっている。このことから、利用者の利便性の向上を図るため、阿南医療センターの開院に合わせて、現在の中央病院前を経由している全路線が乗り入れ可能となるよう、運行事業者及び関係機関と協議し、調整を行っている。

◇第2子保育料無料化

Q 来年10月から予定されている幼児教育・保育の無償化について、国は幼稚園、保育所ともに給食費を無償化の対象としていない。本市は、第1子の給食費も第2子以降と同様に無料となるのか。

A 来年10月から予定されている幼児教育・保育の無償化は、国は当初、3歳児から5歳児の保育料を全て無償化するとしていた。これを受け本市では、本年10月から3歳児から5歳児のうち、第2

子の給食費を含む保育料を無料としている。しかし、国は先月、3歳児から5歳児の給食費を全額、保護者負担とする方針を公表した。これにより第1子の給食費の扱いについての問題が生じるが、本市としては、既に3歳児から5歳児の第2子及び第3子以降の児童は、給食費を含んだ保育料を無料としていることから、今後、全国市長会等を通じて国への働きかけを行うなど、第1子についても同様の対応ができるよう検討していきたい。

保健福祉行政

◇風しんワクチンの接種助成

Q 成人の風しんワクチン予防接種一部助成事業を来年度も引き続き実施してはどうか。

A 国は、感染拡大が続く風しんについて、ワクチンの接種率が低く、患者の多数を占める30代から50代男性の抗体検査や予防接種の原則無料化を検討している。また、

自治体によって検査や予防接種に対する助成制度にばらつきがあることから、地方自治体向けの指針を国が作成する方針も明らかにしている。本市としては、今後の国の動向を注視し、安心して子どもを産み、育てることのできる環境を確保するための事業として実施していることから来年度の実施についても前向きに検討していきたい。

なお、厚生労働省において、定期予防接種の機会がなかった、現在39歳から56歳までの男性を対象に来年度から約3年間、全国で風しんワクチンの予防接種を原則無料化にする」と発表があった（平成30年12月11日発表）。

農業委員会

◇倫理要綱の制定

Q 元農業委員が収賄罪で起訴されたが、再発防止に向けた今後の取組は。

A 阿南市農業委員会倫理要綱を年内に制定し、11月13日付で農業委員会会長から

議会中継をご覧ください

ケーブルテレビにより本会議の開会・一般質問・閉会の模様を生放送しています。

※時間は 午前10時から本会議終了まで
※チャンネルは 11chでご覧いただけます。

なお、放送や放送内容など詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

会議録の閲覧ができます

定例会での質問や答弁の内容を詳しく知りたい方は、次の方法で閲覧できます。

①製本会議録を閲覧する方法

お近くの「公民館」、市内「図書館」に製本会議録を配本しています。

②インターネットで閲覧する方法

阿南市ホームページ <http://www.city.anan.tokushima.jp/> から阿南市議会→会議録検索を選択すると閲覧することができます。

Q 宝の山推進事業において、竹材の有効活用成果発表の場はどのように設けるのか。

A 宝の山推進事業では、放置竹林の解消に向けた作業道の整備やタケノコを利用した新商品開発による消費拡大等の取組を行っている。また、竹繊維を使った高級和紙である「竹紙」や肥料、

宝の山推進事業の成果

林業振興

全委員に対し、社会的責任と公共的使命を自覚し、健全かつ効率的な業務運営を通じて地域農業関係者からの信頼と安心感の確保に努めるとともに、委員としての高い倫理を保持し、コンプライアンスの一層の徹底を図るよう通知した。また、12月25日に全委員の参加によるコンプライアンス研修を実施する。事態を厳粛に受けとめるとともに、農業の振興をしつかりと図っていくことにより、市民の信頼回復に努めたい。

簡易トイレの脱臭及び分解剤として活用できる「竹パウダー」など、竹の新たな有効活用についても開発を行っており、今年度は、竹林整備に向けた新たな作業道の整備と竹パウダー配布事業の成果をあげている。

今後、その成果を周知するため、「竹紙」は公民館活動との連携を検討し、「竹パウダー」は、被災時の簡易トイレ用として有効であることが実証されたことから、自主防災組織の防災研修等で紹介し、また、来年2月に開催予定の「第27回阿南市活竹祭」で市民への広報を図るなど、竹材の有効活用並びに取組についての広報活動を進めていきたい。

環境行政

災害廃棄物の処理

Q 大規模災害時には、各地区で発生したごみを集める大きな集積場が必要だと思うが。



災害ごみの集積場・処理場であるエコパーク阿南

A 災害廃棄物の処理は、速やかに復旧・復興を進める上で重要な作業であるため、集積場の課題も含め、既に「阿南市災害廃棄物処理計画」を策定し準備を進めている。

本計画では、3年以内で廃棄物の処理を終えることを目標としているが、発災後、各地区の一時仮置場に集められた災害ごみは、次に、分別・リサイクル等の作業を行うため、集積場・処理場として策定しているエコパーク阿南の敷地内、また、災害ごみの量により、隣接する埋立地に随時運び入れ、分別された後、エコパーク阿南で適正に処理を行う計画である。

プラスチックごみの削減

Q レジ袋やプラ製品の使用削減を市から働きかけることで、使用や廃棄に対する意識向上につながると思うが。

A 阿南市環境保全率先行動計画（区域施策編）の基本方針において、容器包装の分別収集・リサイクル等による再生利用の取組や、マイバッグ持参の奨励など、レジ袋の使用削減の取組を推進している。

また、第8期阿南市分別収集計画では、容器包装廃棄物の排出の抑制を促進するための方策として、小学校では、「わたしたちの阿南市」を活用した環境学習・周知啓発活動等に積極的に取り組んでいる。

このような計画に基づき、エコパーク阿南やリサイクル事業者による再生利用の取組を推進するとともに、県と連携し、講演会の開催、マイバッグ持参啓発キャンペーンの実施、学校等への出前講座やエコパーク阿南でのエコイベントの実施、環境保全啓発ポスター募集などの啓発活動を実施しており、引き続き市

民・事業者等の環境意識の向上を図っていきたい。

産業振興

旧新浜造船所跡地の利用

Q 意見交換会や庁内協議を経た現段階での有効活用案は。



(阿南第二中学校3年生の作品)



(見能林小学校2年生の作品)

平成30年度阿南市環境保全啓発ポスター環境美化啓発部門最優秀作品

A 今年度、当該用地における堤外地ドック部分での有効活用の一つとして、阿南消防署による潜水訓練を実施している。今後、引き続き訓練場としての使用も一案として検討し、必要に応じて周辺整備等を協議していきたい。

水道行政

◇応急給水の準備対策

Q 避難所などへ災害対策用のろ過装置や消毒設備を設置することなど、応急給水の事前準備は検討されているか。

A 避難所となる幼稚園、保育所、小中学校や高等学校のほか、防災公園の倉庫や市役所の防災倉庫などには、1・5リットルのペットボトルが約3万2000本備蓄されている。また、阿南駅前児童公園に容量60トン、ゆたか野地区防災公園に容量20トン、津乃峰地区防災公園に容量40トンの耐震性貯水槽を設置するなど飲料水を確保している。長期にわたる災害時には、

簡易的なろ過装置や消毒装置は有効な手段と考えている。



飲料水を備蓄している防災倉庫
(市役所地下1階)

◇伊島の簡易水道

Q 配水タンクの修繕や老朽管の更新が必要であると伺っているがどう対応していくのか。

A 伊島町民の皆様が安定的に水道水を届けられるよう、現在、水の安定的供給を確保・向上していくため、配水池の補修・補強に向けての準備を進めている。また、老朽管については、劣化の程度に応じた適切かつ必要な処置を検討・実施していきたい。

教育行政

◇学校体育館等へのエアコン設置

Q 災害時の避難所となる学校体育館等へのエアコン設置は。

A 体育館等を含めた学校施設は、児童生徒の学習の場であるとともに、災害発生時には、地域住民の避難所としての役割を果たす重要な施設である。まずは、児童生徒の日々の学習に際して、熱中症を予防して安全を確保するという見地からエアコン設置に取り組んでおり、児童生徒が長時間を過ごす普通教室への設置を最優先とし、続いて特別教室への設置に取り組んでいる。

全ての小中学校へのエアコン設置が完了した段階で、ランニングコストの実績や耐用年数経過後のエアコンの更新費用の見込額など、将来の財政負担も勘案しながら、体育館等へエアコンを設置することの優先度や他市の状況を見きわめ、国への要望や取組を

検討していきたい。

◇ブロック塀の安全対策

Q ブロック塀の安全点検後、どのような安全対策を行っているのか。また、今後のスケジュールは。

A 市立の幼稚園、小学校及び中学校44校のうち、ブロック塀のある学校は29校で、このうち、ブロック塀が「危険」と判定された学校は、福井小学校、椿小学校、見能林小学校及び吉井小学校の4校である。福井小学校は、危険なブロック塀は既に撤去し、椿小学校のブロック塀もブロック3段を切除し、現在の建築基準法に適合するよう安全対策を講じている。見能林小学校のブロック塀は、本年度中に改修する予定である。吉井小学校は、「ブロック塀の点検表」に基づく調査では、「危険」とは判定されず、その後、鉄筋探査機を購入し、再調査を実施したところ鉄筋が入っていないことが判明し、「危険」と判定した。吉井小学校は、工期の関係で、本年度中に改修できなかったが、

来年度の予算措置を待つて、早急に改修を行いたい。改修にあたっては、学校施設環境改善交付金や特例交付金などの補助金等を有効に活用しながら、計画的な整備に努めていきたい。



今年度中に改修予定の見能林小学校の
ブロック塀

◇外国人労働者の子どもの受入れ

Q 熟練した技能を要する「特定技能2号」の在留資格を持った外国人が増加すると予想されているが、子どもの受入れ態勢をどう整えるのか。

A 帰国子女や外国人の児童生徒のために設けられた

県の「日本語講師派遣制度」を活用することや、加配教員や市費教員を配置して、日本語を話せない児童生徒に付いて個別指導を行っていくこと、また、学習指導だけでなく、学校生活や地域社会にスムーズに溶け込めるよう、地域の通訳ボランティアを活用すること、さらに県及び市の「国際交流協会」の協力を得て、子ども、保護者、地域を含めた包括的な支援を行っていくことを考えている。

政府は年内に、日本語教育などの外国人支援策を盛り込んだ「総合的対応策」を取りまとめる方針であるとのことであるが、今後、国の動向や他市の先進的な取組にも注視しながら、受入れ態勢の整備に努めていきたい。

消防行政

◇消防出張所の役割

Q 現在の消防本部が被災した場合、富岡地区に整備する消防出張所や長生町にある西出張所は本部機能

能を担うことになるのか。

A 消防本部庁舎は、官庁施設の総合耐震計画基準に準拠し、震度7に耐えられる耐震性のある建物であり、想定される地震に耐え得るものと考えている。

しかし、万が一、消防本部が被災し、業務に支障がある場合の応急措置として、長生町の消防署西出張所が本部機能を担う場所になると考えているが、土地、建物において西出張所では少し狭いことから、富岡地区に整備する新消防出張所を実現化するに当たり、本部機能を担えるような建物の大きさ、土地の広さ等



消防署西出張所（長生町）

について、十分検討協議を重ねていきたい。

◇救急に特化した消防出張所の整備

Q 来年春の阿南医療センターの開院により、川北地域に救急病院が無くなる。川北地域に救急に特化した消防出張所を設置しては。

A 救急は、現在4台の高規格救急車で災害活動に当たっている。消防力の整備指針では、配備する救急自動車は、人口10万人以下の市町村で、おおむね人口2万人ごとに1台を基準とすると改正された。改正後、更新するべき高規格救急車を廃車せず、非常時の予備車として残し、高規格救急車4台を常時運用できるように5台を維持している。また、昨年度、全救急車が出動中に、重篤な救急要請があった事例はなかったことから、現状の救急車4台運用は適正な運用であり、出張所や車両を増やす計画は、慎重に対応していきたい。

本会議・委員会は公開しています

議会開会中は、本会議や委員会をどなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、市役所3階の傍聴受付にて、住所・氏名等を記入し、傍聴席に座って傍聴していただきます。傍聴席の定員は、本会議が44人、委員会は10人となっています。皆様の傍聴を心よりお待ちしております。

3月定例会の予定

3月 1日(金)	開会	3月18日(月)	委員会
3月 6日(水)	一般質問	3月19日(火)	委員会
3月 7日(木)	一般質問	3月20日(水)	委員会
3月11日(月)	一般質問	3月25日(月)	採決・閉会
3月12日(火)	委員会		

詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。
☎22-3399

行政視察の受入状況

全国の議会関係者からの行政視察を積極的に受け入れています。

10月22日

栃木県矢板市議会議員 3人
「あなんスマートワークオフイス」

10月31日

神奈川県厚木市議会議員 10人
「新庁舎建設事業」

11月13日

茨城県大洗、鉾田、水戸環境組合議会議員 17人
「エコパーク阿南」

11月20日

岡山県鏡野町議会議員 8人
「婚活応援事業」



行政視察のようす

委員会の審査状況

各常任委員会では、付託された議案の審査を行いました。
以下審査の過程で出された質疑・意見等の内容を報告します。

建設委員会

市長提出議案1件を審査

◇危険ブロック塀等撤去支援事業補助金の内容について質疑があり、危険ブロック塀等撤去支援事業補助金は、地震等による被害や避難時の通行の妨げとなることを防止するため、道路に面した危険な民間所有のブロック塀等の撤去費用を最大で上限8万円、補助対象工事費の5分の4を補助する。また、補助戸数は、20戸で広報あなんやケーブルテレビなどの広報媒体を広く活用して市民に周知を図り、来年1月から実施したいとの説明があった。

文教厚生委員会

市長提出議案13件を審査

◇損害賠償の額の決定及び和解に係る専決処分の承認では、台風21号による物損事故であるが、この台風以降、学校の施設等の点検を行ったのか、また、類似するような場所があればどのような対応をしたのかとの質疑があり、見能林小学校敷地内に設置していた鉄製のプレハブ倉庫と類似した体育倉庫は、横見小学校、椿小学校、新野中学校、椿町中学校が該当し、横見小学校は、同様に屋根の一部が飛散したため、撤去を行った。その他の倉庫等も、安全確認をしながら、来年度、予算措置が講じられてから計画的に撤去する方向で検討していきたいとの説明があった。

◇ひまわり会館の施設改修工事負担金の用途について質疑があり、保健センターが使用していた事務室及び相談室等を、阿南市社会福祉協議会が使用したい旨の申し出があり、来年4月から使用を許可している。事務所移転に伴い、社会福祉協議会から事務室をはじめ施設の一部改修の相談があり精査した結果、社会福祉協議会が予定している改修工事のうち、貸主として阿南市が工事を行うべきと判断した費用を社会福祉協議会に支払う。また、市が単独で発注するより、社会福祉協議会が行う他の改修工事に併せて一括発注することで、工事費の削減につながるから負担金計

上としたとの説明があった。



文教厚生委員会のようす

総務委員会

市長提出議案7件、請願1件を審査

◇阿南市火災予防条例の一部改正では、特定防火対象物への立ち入り検査等をどの程度の頻度で行っているのかとの質疑があり、消防本部管内には特定防火対象物が717施設あり、立入検査は、年間計画を立てて実施している。特に、老人福祉施設や病院を中心に検査を強化していることに加え、新築物件は建築確認申請により建物の規模・構造、

収容人員等を確認し、どのような消防用設備が必要か検証して消防同意を行っているとの説明があった。

◇一般会計補正予算の関係部分では、消防団詰所建設工事費600万円の内容について質疑があり、消防団詰所は木造・平屋建て・約80平方メートルで1棟当たり約1500万円から1600万円の予算で建替えを行っているが、今年度予定していた2棟分の建築設計を行ったところ、材料費等の単価の高騰により、工事費を補正する必要があるとの説明があった。この答弁を受けて、老朽化している消防団詰所もあることから、消防団の利便性向上のために予算を確保し、早急に更新に取り組むよう要望があった。

◇国に対し「消費税増税の中止を求める意見書」の提出を求める請願の審査では、日本の政党政治のあり方にも問題があるが、既に国において決定している税制について反対しても効果はない。増税により社会保障に対する安定的財源を確保し、各種対策を講じることが期待するとの意見があった。

産業経済委員会

市長提出議案1件を審査

◇経営体育成支援事業補助金

12月定例会議決結果一覧

(承認議案)

承認第1号	損害賠償の額の決定及び和解に係る専決処分の承認について	(原案承認)
承認第2号	損害賠償の額の決定及び和解に係る専決処分の承認について	(原案承認)

(条例議案)

第1号議案	阿南市印鑑条例の一部改正について	(原案可決)
第2号議案	阿南市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	(原案可決)
第3号議案	阿南市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部改正について	(原案可決)
第4号議案	阿南市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正について	(原案可決)
第5号議案	阿南市手数料条例の一部改正について	(原案可決)
第6号議案	阿南市介護保険条例の一部改正について	(原案可決)
第7号議案	阿南市火災予防条例の一部改正について	(原案可決)
第16号議案	阿南市職員の給与に関する条例等の一部改正について	(原案可決)

(補正予算議案)

第8号議案	平成30年度阿南市一般会計補正予算(第3号)について	(原案可決)
第9号議案	平成30年度阿南市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について	(原案可決)
第10号議案	平成30年度阿南市加茂谷診療所事業特別会計補正予算(第1号)について	(原案可決)
第11号議案	平成30年度阿南市伊島診療所事業特別会計補正予算(第1号)について	(原案可決)
第12号議案	平成30年度阿南市夜間休日診療所事業特別会計補正予算(第1号)について	(原案可決)
第17号議案	平成30年度阿南市一般会計補正予算(第4号)について	(原案可決)

(9月定例会で継続審査となっていた決算認定議案)

第13号議案	平成29年度阿南市一般会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第14号議案	平成29年度阿南市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第15号議案	平成29年度阿南市加茂谷診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第16号議案	平成29年度阿南市伊島診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第17号議案	平成29年度阿南市加茂谷財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第18号議案	平成29年度阿南市伊島財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第19号議案	平成29年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第20号議案	平成29年度阿南市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第21号議案	平成29年度阿南市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第22号議案	平成29年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第23号議案	平成29年度阿南市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第24号議案	平成29年度阿南市奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第25号議案	平成29年度阿南市春日野地域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第26号議案	平成29年度阿南市羽ノ浦農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第27号議案	平成29年度阿南市豊香野地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第28号議案	平成29年度阿南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)
第29号議案	平成29年度阿南市西春日野生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案認定)

(その他の議案)

第13号議案	学校業務支援システムの共同化に関する事務の委託に関する協議について	(原案可決)
第14号議案	指定管理者の指定について	(原案可決)
第15号議案	財産区管理委員の選任について	(原案可決)

(人事議案)

第18号議案	監査委員の選任について	(原案同意)
第19号議案	監査委員の選任について	(原案同意)

(請願)

請願第2号	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願	(不採択)
-------	-------------------------------	-------

阿南市議会組織一覧表

※常任委員会は、阿南市委員会条例で委員会の名称、定数、所管が規定されています。
 なお、議長は中立公平の観点から委員会に所属していません。

	氏 名	住 所	電話番号	所属会派
議 長	橋 本 幸 子	那賀川町赤池304番地 4	42-0658	市民クラブ
副 議 長	飯 田 忠 志	長生町西山198番地 3	23-1735	新生阿南

総務委員会	所管は企画部、総務部、危機管理部、消防本部、会計課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会及び固定資産評価審査委員会に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項。定数は7人。			
委 員 長	横 田 守 弘	内原町中分75番地 1	26-0348	新生阿南
副委員長	仁 木 啓 人	長生町恋田9番地 1	23-4410	市民クラブ
委 員 員	山 下 久 義	富岡町寿通34番地	22-7086	新生阿南
委 員 員	星 加 美 保	羽ノ浦町春日野 1 番地588	44-5048	新生阿南
委 員 員	荒 谷 みどり	黒津地町戎野22番地	22-1157	自民創生会
委 員 員	福 島 民 雄	羽ノ浦町中庄池ノ上46番地	44-4254	自民創生会
委 員 員	住 友 進 一	那賀川町色ヶ島網干68番地	42-0617	経政会

文教厚生委員会	所管は市民部、環境管理部、保健福祉部及び教育委員会に関する事項。定数は7人。			
委 員 長	湯 浅 隆 浩	羽ノ浦町中庄かわら池19番地	44-2993	新生阿南
副委員長	沢 本 勝 彦	中大野町南傍示141番地	22-1041	経政会
委 員 員	林 孝 一	新野町信里 7 番地11	36-3336	新生阿南
委 員 員	表 原 立 磨	富岡町あ石27番地 4	22-0511	自民創生会
委 員 員	久 米 良 久	横見町高川原23番地 2	22-4057	経政会
委 員 員	福 谷 美樹夫	羽ノ浦町中庄段上14番地13	49-4281	市民クラブ
委 員 員	保 岡 好 江	津乃峰町新浜67番地 2	27-1756	日本共産党

産業経済委員会	所管は産業部及び農業委員会に関する事項。定数は7人。			
委 員 長	奥 田 勇	楠根町奥山17番地 6	25-0773	公明党
副委員長	幸 坂 孝 則	羽ノ浦町岩脇阿千田67番地 4	44-4964	新生阿南
委 員 員	野 村 栄	福井町古津193番地	34-2540	新生阿南
委 員 員	山 崎 雅 史	上中町岡246番地	23-2281	自民創生会
委 員 員	喜 多 啓 吉	富岡町トノ町28番地 4	23-4322	自民創生会
委 員 員	平 山 正 光	那賀川町黒地477番地 8	21-2890	経政会

建設委員会	所管は建設部、特定事業部及び水道部に関する事項。定数は7人。			
委 員 長	住 友 利 広	宝田町梅の本517番地 1	22-2337	自民創生会
副委員長	武 田 光 普	椿町平松東側 2 番地	33-1059	経政会
委 員 員	小 野 毅	那賀川町黒地492番地	42-0649	新生阿南
委 員 員	飯 田 忠 志	長生町西山198番地 3	23-1735	新生阿南
委 員 員	陶 久 晃 一	内原町宮国33番地	49-3886	公明党
委 員 員	井 坂 重 廣	才見町光の大地 1 番地23	23-2048	日本共産党
委 員 員	佐々木 志満子	橘町荒神ノ上23番地 2	27-1833	子どもと未来の会

議会運営委員会	議会を円滑に、かつ効率的に運営するため条例で設置する委員会。定数は10人。			
委 員 長	野 村 栄	委 員 員	久 米 良 久	
副委員長	山 崎 雅 史	委 員 員	沢 本 勝 彦	
委 員 員	林 孝 一	委 員 員	仁 木 啓 人	
委 員 員	幸 坂 孝 則	委 員 員	奥 田 勇	
委 員 員	表 原 立 磨	委 員 員	井 坂 重 廣	

那賀川北岸地域湛水防除施設組合
橋 本 幸 子
奥 田 勇
住 友 利 広
平 山 正 光

徳島県後期高齢者医療広域連合
橋 本 幸 子

編集委員会では、市民の皆様に親しんでいただける紙面づくりに取り組んでいます。皆様のご意見、ご感想をお聞かせください。

委員長 福谷 美樹夫
 副委員長 陶久 晃一
 委員 林孝 一
 委員 表原 立磨
 委員 武田 光普
 委員 佐々木 志満子
 委員 保岡 好江

編集委員会の新しい委員構成が決まりました。

